

作成日  
2024年12月19日 第1版作成  
2025年10月22日 第2版作成  
2025年12月18日 第3版作成

## 臨床研究に関するお知らせ

宮崎市郡医師会病院産婦人科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。宮崎大学ではこの研究に情報の提供を行います。

**研究課題名：**生殖補助医療によって妊娠した妊婦の胎盤異常が早産に与える影響に関する後方視的研究

### 1. 研究の概要

年々生殖補助医療による妊娠が増加しているが、生殖補助医療では、早産、低出生体重児、周産期死亡率が高くなることが知られている<sup>1)</sup>。メタアナリシスでは生殖補助医療のうち、in-vitro fertilization (IVF)での妊娠は、年齢や分娩回数で調整した後も、オッズ比で周産期死亡2.2、早産2.0、低出生体重1.8、small-for-gestational age児1.6と妊娠予後に負に影響することが示されている<sup>1)</sup>。しかし、これらが起こるメカニズムは知られていない。そこで、本研究では生殖補助医療で妊娠した妊婦の中で、早産に至った症例の病理学的な胎盤の病理学的異常と、自然妊娠で早産に至った症例の胎盤の病理学的な異常とを比較し、胎盤病理の側面から生殖補助医療が早産に至る原因を解析することを目的に本研究を計画した。

#### ● 当院の実施体制

##### 【実施責任者】

宮崎大学医学部発達非尿生殖医学講座産婦人科学分野

宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科

宮崎市郡医師会病院産婦人科 圓崎 夏美

##### 【分担研究者】

宮崎市郡医師会病院産婦人科 牧 洋平

### 2. 目的

生殖補助医療は多くの不妊で悩む女性に広く普及しており、生殖補助医療によって妊娠出産に至る女性が年々増加しています。その一方で、自然妊娠による妊娠と比べると早産や低出生体重などの合併症が上昇することも知られていますが、その原因ははっきりしません。本研究では生殖補助医療によって妊娠した女性で早産に至った方の胎盤病理の結果を、自然妊娠で早産に至った方の胎盤病理の結果と比較し、早産に至った原因をつきとめることが目的です。

なお、この研究は、周産期の治療に関連する新しい知識を得ることを目的とします。

### 3. 研究実施予定期間

この研究は、研究機関の長の許可後から2027年3月まで行われます。

### 4. 対象者

2014年4月から2024年10月に当院産婦人科に入院され、早産に至った方が対象となります。

作成日  
2024年12月19日 第1版作成  
2025年10月22日 第2版作成  
2025年12月18日 第3版作成

す。

## 5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、胎盤病理の結果に加え、年齢、診断名、妊娠分娩歴、血液検査結果、分娩週数や児の出生体重を利用させていただき、これらの情報をもとに生殖補助医療によって妊娠した方と自然妊娠によって妊娠した方の胎盤異常の有無の差やその形態の違いを解析します。

## 6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

## 7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

## 8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

## 9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲で情報開示を行います。

## 10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者または分担責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

なお、本研究の研究担当者は、本研究に関連する企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、申告すべき利益相反<sup>注1)</sup>はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

## 11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

## 12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

## 13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

作成日  
2024年12月19日 第1版作成  
2025年10月22日 第2版作成  
2025年12月18日 第3版作成

宮崎市郡医師会病院産婦人科  
氏名 圓崎 夏美  
電話：0985-77-9101  
FAX：0985-77-9121

宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野  
氏名 桂木 真司  
電話：0985-85-1510